

第156回 教育研究評議会 要録

日時 平成29年12月20日（水）午後1時00分～午後1時45分
場所 第一会議室
出席者 今岡学長，角田理事，小路田理事，藤原理事，井深理事，成瀬副学長，三成副学長，吉村副学長，野村文学部長，林井理学部長，黒子生活環境学部長，高田人間文化研究科長，内田，中山，小林，春本，久保，松岡，棚瀬，三木各評議員
列席者 才脇学長補佐，酒居監事，福田監事，岩阪事務局次長／総務・企画課長，太田情報管理活用監，桑原国際課長，乾研究協力課長，西施設企画課長，木下学務課長，中窪学生生活課長，矢野学術情報課長

議事に先立ち，前回の記録確認。

I 審議事項

1. その他

特になし

II 報告事項

1. 第55回経営協議会及び第207回役員会について

学長から，11月17日に開催された第55回経営協議会及び11月24日に開催された第207回役員会の審議概要について，資料1-1及び資料1-2により報告があった。これらに関連して，配布資料により，国大協が公表した「高等教育における国立大学の将来像（中間まとめ）」について紹介があり，第3期中期目標期間から第4期中期目標期間に向かっている方向性を確認するよう指示があった。

2. 平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果について

小路田理事から，資料2-1から2-4により，4項目すべて上から3番目の順調に進んでいるとの評価を受けたとの報告があった。また，他大学の評価状況や取組事例に関して説明があり，これらを参考に評価指標の設定やリスクマネジメントの観点を確認するよう依頼があった。さらに，平成29年度実績取りまとめ作業及び平成30年度計画作成作業について，協力依頼があった。

3. 卓越大学院シンポジウムの開催について

小路田理事から，資料3により，卓越大学院構想を進めるためのシンポジウムの開催について報告があり，各部局からの積極的な参加について依頼があった。

4. ダッカ大学との大学間国際交流協定の調印について

吉村副学長から、資料4により、12月4日にダッカ大学における調印式に学長が出席したこと等について報告があった。続いて学長から、バングラデシュの成長の可能性について説明があり、国際拠点の一つとして研究面でのつながりを増やし関わりを深めていきたいとの発言があった。

5. 各室等からの報告について

倫理人権委員会：

三成副学長から、12月12日（火）に近畿地区国立大学長人権問題懇談会が奈良教育大学で開催され、学長及び三成副学長が出席したとの報告があった。

続いて、平成29年度の人権問題研究集会（後期）について、当初本日開催予定だったが、日程を変更して1月24日（水）13時から開催予定との案内があった。

6. その他

(1) 共同利用・共同研究拠点について

小路田理事から、先月の教育研究評議会で説明を行った同構想について、研究所の設置は今年度内に行うが、学内準備や戦略として検討した結果、公募申請は3年後とすることを決定したとの説明があった。

(2) 創立百十周年記念事業について

藤原理事から、配布資料により、ロゴマーク・キャッチフレーズの応募について、各部局及び学生への周知依頼があった。

(3) 新年互礼会について

総務・企画課長から、平成30年1月4日（木）16時30分から大学会館2階大集会室で開催予定との案内があり、各部局での周知依頼があった。

(4) 第3期中期目標期間中の計画実行方針について

学長から、最近の国家政策決定プロセスの傾向を踏まえ、第4期中期目標期間でどう行動すべきかを見極めるためにも、第3期中期目標期間中には将来に向けた計画・準備を行いながら、4年目の中間評価に臨みたいとの確認があった。

(5) 北魚屋西町構内の交通規制について

三木評議員から、東門から講堂東側を經由しサークル施設前までの車両通行について、学生の安全確保上問題があるとの発言があり、交通対策専門部会長である角田理事から、今後検討を行う予定との回答があった。

(6) Group Session 試行後アンケートについて

藤原理事から、標記アンケートへの回答協力について、依頼があった。

以上